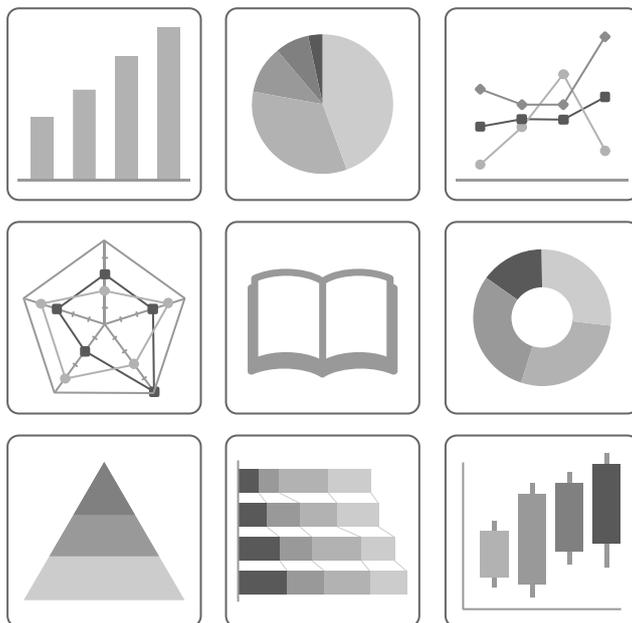
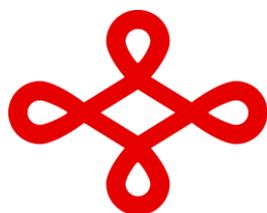


# 西尾市 生涯学習に関するアンケート調査 結果報告書【施設利用者対象】



令和4年3月  
西尾市教育委員会

# 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的 .....	1
2 調査対象 .....	1
3 調査期間 .....	1
4 調査方法 .....	1
5 回収状況 .....	1
6 調査結果の表示方法 .....	2
<b>II 調査結果</b> .....	<b>3</b>
1 あなた自身のことについて .....	3
2 生涯学習の現状について .....	5
3 今後の生涯学習について .....	17
4 生涯学習施設について .....	23
5 今後の西尾市の生涯学習に期待することについて .....	32
6 自由記述の意見について【利用者市民対象】 .....	34

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本市では平成 24 年度に平成 25 年度から令和 4 年度までを計画期間とした「西尾市生涯学習推進計画」を策定しました。

それに基づき市では、生涯学習に対する市民ニーズの多様化や社会環境の変化に対応していくために、そして市民一人ひとりが「いつでも、どこでも、だれでも、どんなことでも」学ぶことができる喜びを感じ、「ひとづくり」、「まちづくり」、「地域文化の振興」等について計画的かつ総合的に進めるためさまざまな施策を進めてきています。

本業務は、来年度で現行計画が計画期間を終えるにあたり、「第 2 次西尾市生涯学習推進計画」の策定の基礎資料とする調査を実施するものです。

## 2 調査対象

西尾市の生涯学習施設（ふれあいセンター・公民館・地域交流センター）の利用者（1 施設あたり 35 人に依頼）**490 人**

## 3 調査期間

令和 4 年 2 月 2 日～2 月 1 0 日

## 4 調査方法

生涯学習施設 14 施設（幡豆ふれあいセンター・幡豆公民館と一色町公民館・一色地域交流センターは 1 施設でカウント）の利用者（市外の方も含む）に配布・回収

## 5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
施設利用者	490 通	<b>472 通</b>	<b>96%</b>

## 6 調査結果の表示方法

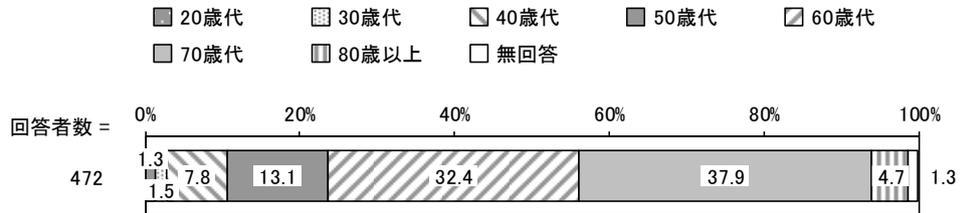
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

## II 調査結果

### 1 あなた自身のことについて

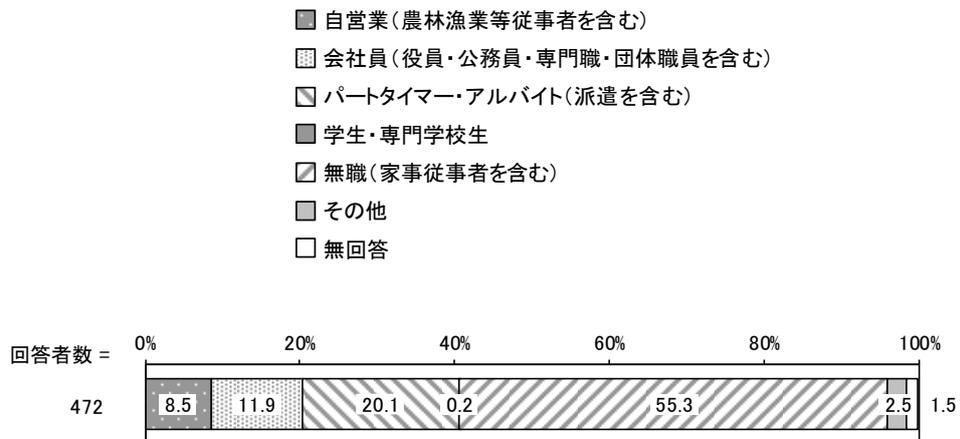
問1 年齢は（令和4年1月1日時点。○は1つ）

「70歳代」の割合が**37.9%**と最も高く、次いで「60歳代」の割合が**32.4%**、「50歳代」の割合が**13.1%**となっています。



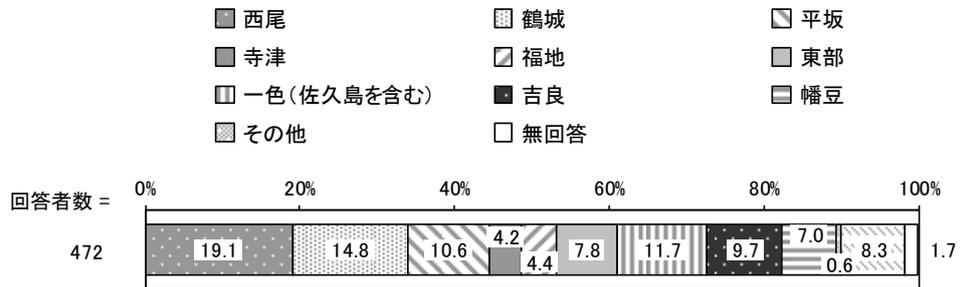
問2 職業は（主たる職業に○を1つ）

「無職（家事従事者を含む）」の割合が**55.3%**と最も高く、次いで「パートタイマー・アルバイト（派遣を含む）」の割合が**20.1%**、「会社員（役員・公務員・専門職・団体職員を含む）」の割合が**11.9%**となっています。



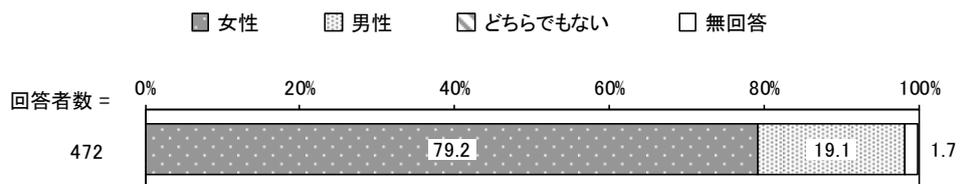
問3 お住まいの中学校校区は（○は1つ）

「西尾」の割合が19.1%と最も高く、次いで「鶴城」の割合が14.8%、「一色（佐久島を含む）」の割合が11.7%となっています。



問4 性別は（自認する性でお答えください。回答は任意です）

「女性」の割合が79.2%、「男性」の割合が19.1%となっています。

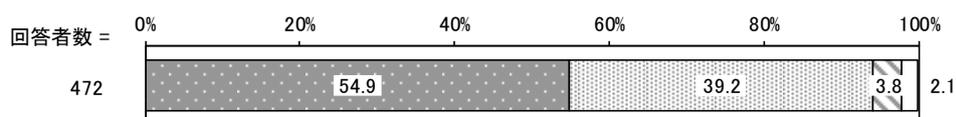


## 2 生涯学習の現状について

問5 これまでに「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。(〇は1つ)

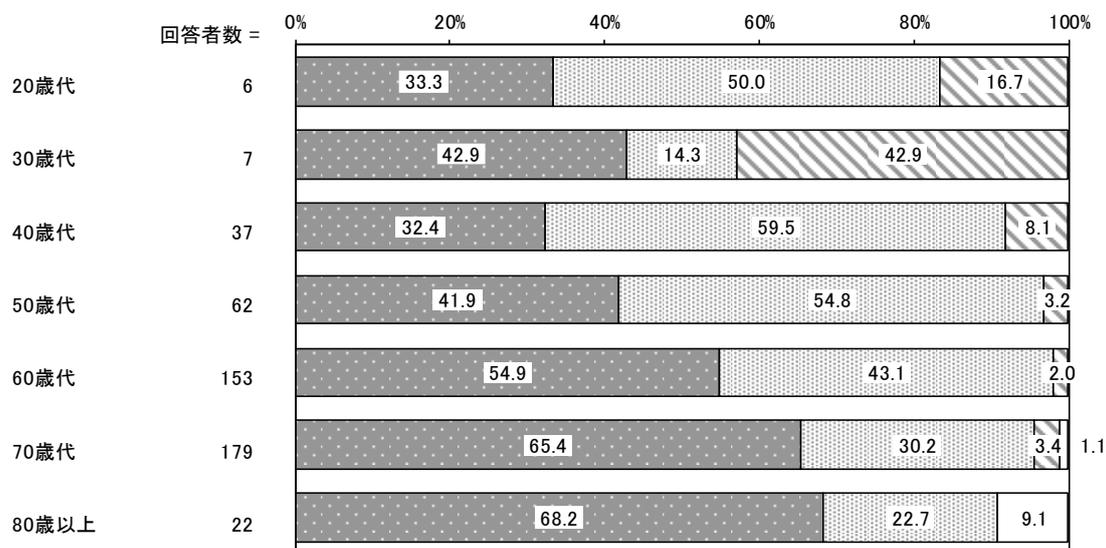
「聞いたことがあります内容もわかっている」の割合が**54.9%**と最も高く、次いで「聞いたことはあるが内容はよくわかっていない」の割合が**39.2%**となっています。

- 聞いたことがあります内容もわかっている
- ▨ 聞いたことはあるが内容はよくわかっていない
- ▩ 聞いたことがない(このアンケートで初めて聞いた)
- 無回答



### 【年代別】

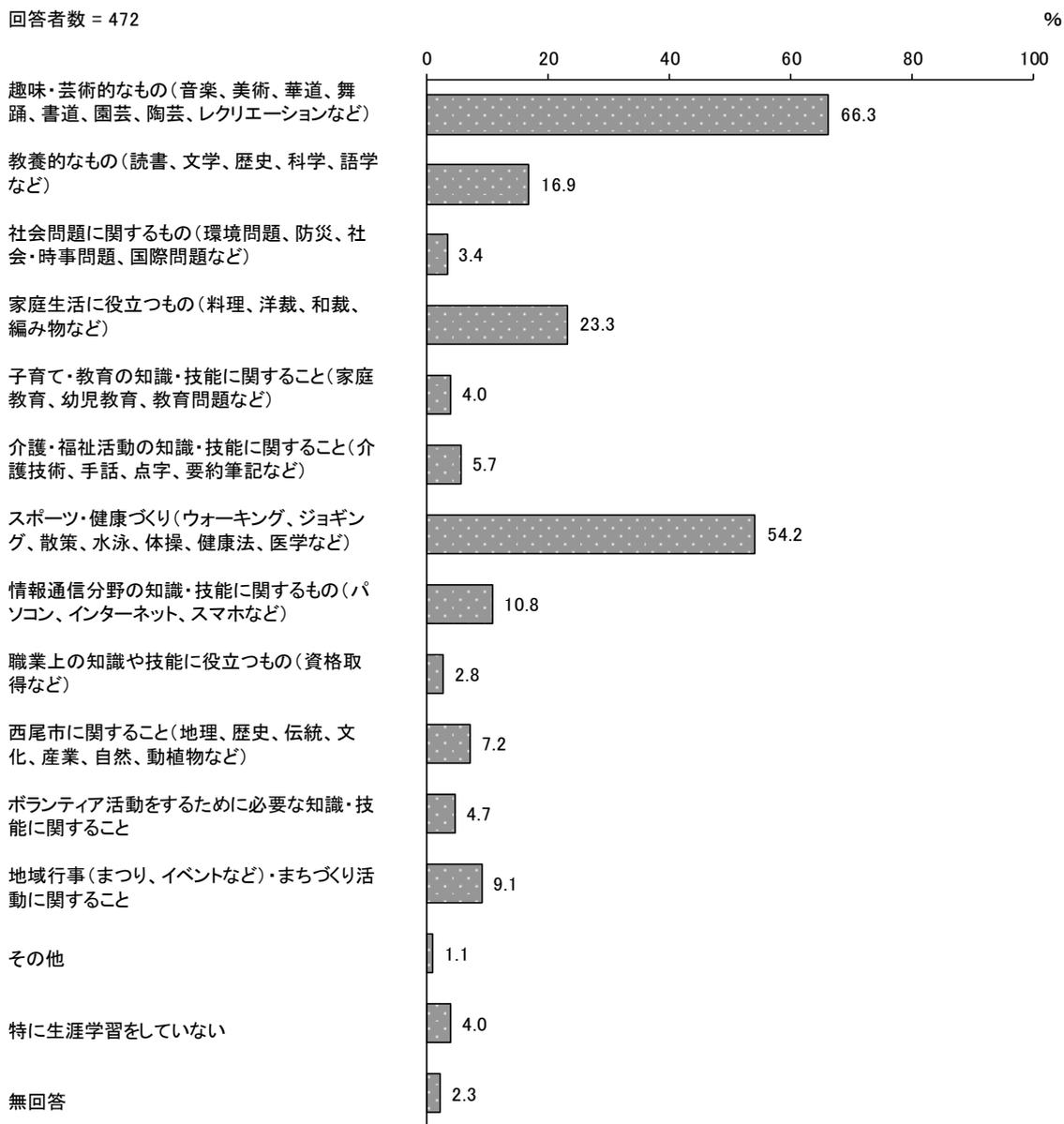
年代別でみると、**20～30歳代をのぞくすべての年代で、年代が上がるにつれて、「聞いたことがあります内容もわかっている」の割合が高くなっています。**



問6 この3年くらいの間に、どのような生涯学習を行いましたか。(〇はいくつでも)

「**趣味・芸術的なもの**(音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸、陶芸、レクリエーションなど)」の割合が**66.3%**と最も高く、次いで「**スポーツ・健康づくり**(ウォーキング、ジョギング、散策、水泳、体操、健康法、医学など)」の割合が**54.2%**、「**家庭生活に役立つもの**(料理、洋裁、和裁、編み物など)」の割合が**23.3%**となっています。

回答者数 = 472



【年代別】

年代別でみると、20～30 歳代をのぞき、他に比べ、40 歳代で「スポーツ・健康づくり（ウォーキング、ジョギング、散策、水泳、体操、健康法、医学など）」、「職業上の知識や技能に役立つもの（資格取得など）」の割合が、50 歳代以上で「趣味・芸術的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸、陶芸、レクリエーションなど）」の割合が高くなっています。

単位：％

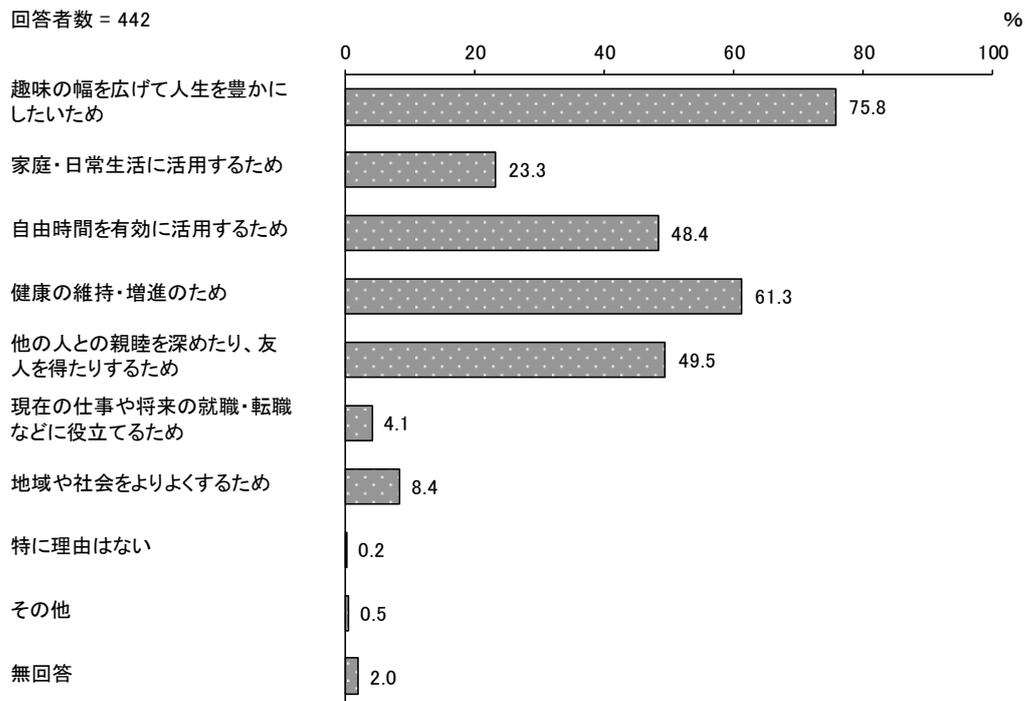
区分	回答者数（件）	趣味・芸術的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸、陶芸、レクリエーションなど）	職業上の知識や技能に役立つもの（資格取得など）	読書・学問的なもの（読書、文学、歴史、科学、語学など）	社会問題に関するもの（環境問題、防災、社会・時事問題、国際問題など）	家庭生活に役立つもの（料理、洋裁、和裁、編み物など）	子育て・教育の知識・技能に関するもの（家庭教育、幼児教育、教育問題など）	介護・福祉活動の知識・技能に関するもの（介護技術、手話、点字、要約筆記など）	スポーツ・健康づくり（ウォーキング、ジョギング、散策、水泳、体操、健康法、医学など）
20 歳代	6	50.0	-	-	-	16.7	-	-	50.0
30 歳代	7	57.1	42.9	28.6	71.4	28.6	28.6	71.4	
40 歳代	37	48.6	13.5	-	21.6	5.4	8.1	64.9	
50 歳代	62	71.0	17.7	1.6	27.4	6.5	4.8	54.8	
60 歳代	153	65.4	17.0	2.6	24.8	3.3	5.9	56.9	
70 歳代	179	70.4	17.3	5.0	20.7	2.8	5.6	50.3	
80 歳以上	22	68.2	13.6	-	13.6	4.5	-	54.5	

区分	情報通信分野の知識・技能に関するもの（パソコン、インターネット、スマホなど）	職業上の知識や技能に役立つもの（資格取得など）	読書・学問的なもの（読書、文学、歴史、伝統、文化、産業、自然、動物など）	西尾市に関するもの（地理、歴史、伝説、文化、産業、自然、動物など）	ボランティア活動をするために必要な知識・技能に関するもの	地域行事（まつり、イベントなど）・まちづくり活動に関するもの	その他	特に生涯学習をしていない	無回答
20 歳代	-	16.7	-	-	16.7	-	33.3	-	
30 歳代	42.9	28.6	-	-	14.3	14.3	-	-	
40 歳代	-	10.8	-	2.7	10.8	-	5.4	-	
50 歳代	4.8	4.8	1.6	6.5	8.1	-	6.5	-	
60 歳代	10.5	1.3	8.5	5.2	7.8	0.7	3.9	0.7	
70 歳代	14.0	0.6	9.5	5.0	10.1	1.1	2.8	2.8	
80 歳以上	18.2	-	13.6	-	9.1	4.5	-	9.1	

【問6で「1」～「13」と答えた方のみにお聞きします。】

問7 生涯学習をする目的は何ですか。(○はいくつでも)

「趣味の幅を広げて人生を豊かにしたいため」の割合が **75.8%**と最も高く、次いで「**健康の維持・増進のため**」の割合が **61.3%**、「**他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため**」の割合が **49.5%**となっています。



【年代別】

年代別で見ると、20～30 歳代をのぞき、他に比べ、50 歳代、80 歳以上で「趣味の幅を広げて人生を豊かにしたいため」の割合が、60～70 歳代で「自由時間を有効に活用するため」の割合が、70～80 歳代で「他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため」の割合が高くなっています。

単位：%

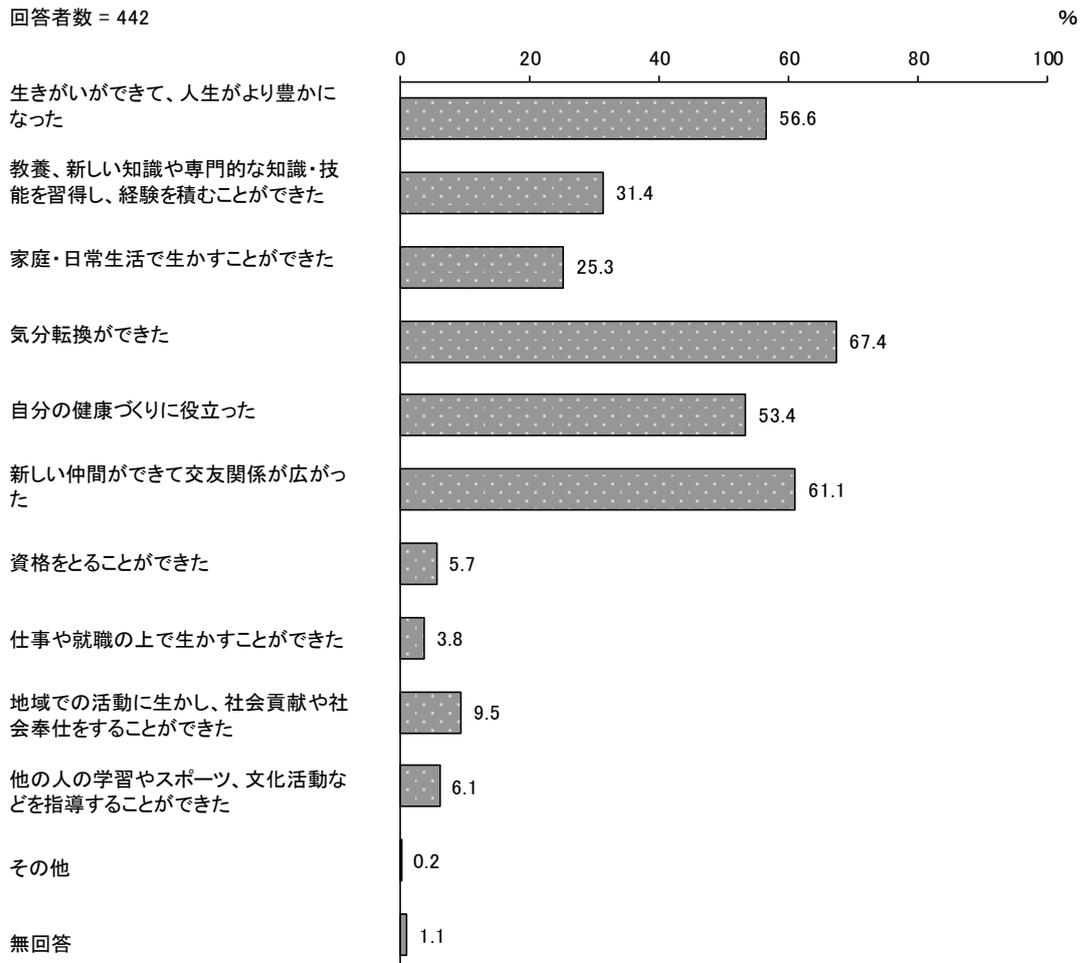
区分	回答者数(件)	趣味の幅を広げて人生を豊かにしたいため	家庭・日常生活に活用するため	自由時間を有効に活用するため	健康の維持・増進のため	他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため	現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため	地域や社会をよりよくするため	特に理由はない	その他	無回答
20 歳代	4	75.0	—	25.0	50.0	—	25.0	25.0	—	—	—
30 歳代	7	57.1	42.9	57.1	57.1	28.6	28.6	—	—	14.3	—
40 歳代	35	62.9	20.0	22.9	62.9	31.4	11.4	14.3	—	2.9	—
50 歳代	58	86.2	25.9	39.7	56.9	41.4	12.1	—	—	—	—
60 歳代	146	78.1	24.0	54.1	67.1	43.8	2.7	6.2	—	—	1.4
70 歳代	169	72.8	23.1	53.3	59.2	60.4	—	11.2	0.6	—	3.6
80 歳以上	20	85.0	15.0	35.0	55.0	65.0	—	15.0	—	—	5.0

【問6で「1」～「13」と答えた方のみにお聞きします。】

問8 生涯学習をして良かったことはどのような点ですか。(○はいくつでも)

「気分転換ができた」の割合が67.4%と最も高く、次いで「新しい仲間ができて交友関係が広がった」の割合が61.1%、「生きがいが出て、人生がより豊かになった」の割合が56.6%となっています。

回答者数 = 442



【年代別】

年代別でみると、20～30 歳代をのぞき、他に比べ、40 歳代で「仕事や就職の上で生かすことができた」、「他の人の学習やスポーツ、文化活動などを指導することができた」の割合が、80 歳代以上で「生きがいできて、人生がより豊かになった」の割合が高くなっています。また、50～70 歳代で「気分転換ができた」の割合が高くなっています。

単位：%

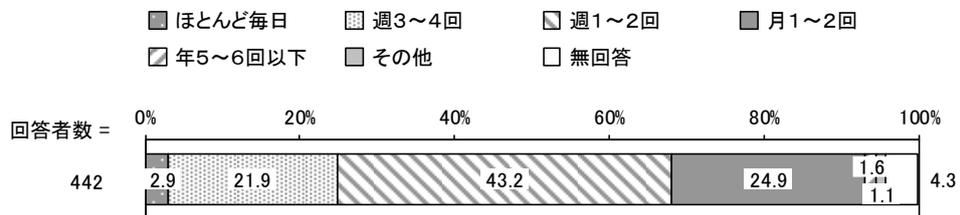
区分	回答者数(件)	生きがいできて、人生がより豊かになった	知識・技能を習得し、経験を積むことができた	教養、新しい知識や専門的な知識・技能を習得し、経験を積むことができた	家庭・日常生活で生かすことができた	気分転換ができた	自分の健康づくりに役立った	新しい仲間ができて交友関係が広がった
20 歳代	4	50.0	25.0	—	75.0	25.0	50.0	
30 歳代	7	28.6	57.1	85.7	71.4	42.9	42.9	
40 歳代	35	51.4	34.3	17.1	48.6	54.3	51.4	
50 歳代	58	48.3	43.1	25.9	72.4	53.4	55.2	
60 歳代	146	53.4	27.4	26.7	67.1	52.7	61.0	
70 歳代	169	60.9	27.8	24.3	71.6	55.0	65.7	
80 歳以上	20	85.0	45.0	20.0	50.0	55.0	60.0	

区分	資格をとることができた	仕事や就職の上で生かすことができた	きた	地域での活動に生かし、社会貢献や社会奉仕をすることができた	他の人の学習やスポーツ、文化活動などを指導することができた	その他	無回答
20 歳代	25.0	25.0	—	—	—	—	
30 歳代	42.9	42.9	—	14.3	—	—	
40 歳代	11.4	14.3	8.6	14.3	—	—	
50 歳代	6.9	6.9	1.7	3.4	—	—	
60 歳代	3.4	2.1	10.3	2.7	—	1.4	
70 歳代	3.0	0.6	11.8	7.7	0.6	1.8	
80 歳以上	15.0	—	15.0	5.0	—	—	

【問6で「1」～「13」と答えた方のみにお聞きします。】

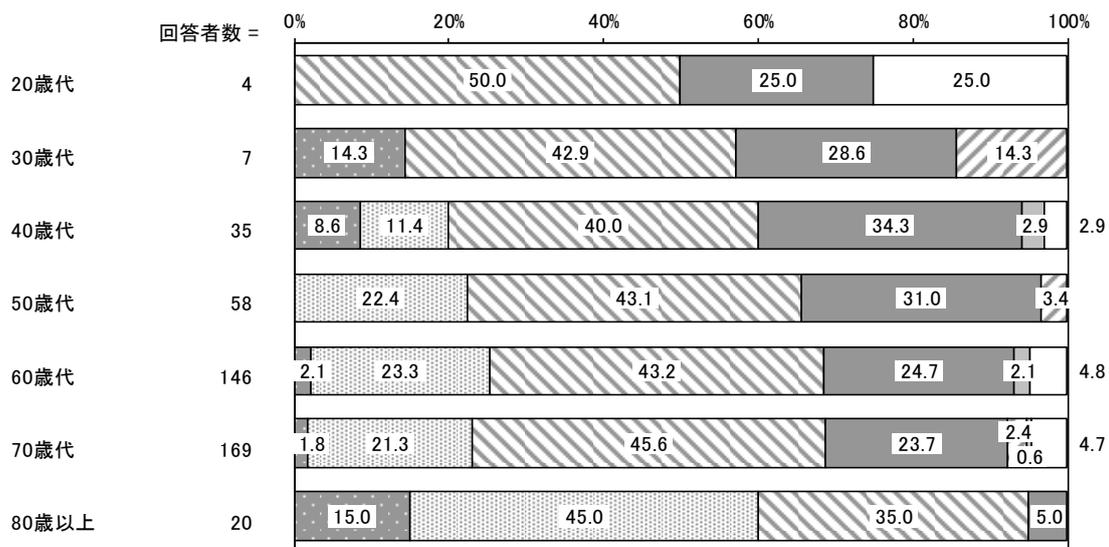
問9 (コロナ禍前は) 生涯学習はどのくらいの頻度で行っていましたか。(○は1つ)

「週1～2回」の割合が**43.2%**と最も高く、次いで「月1～2回」の割合が**24.9%**、「週3～4回」の割合が**21.9%**となっています。



### 【年代別】

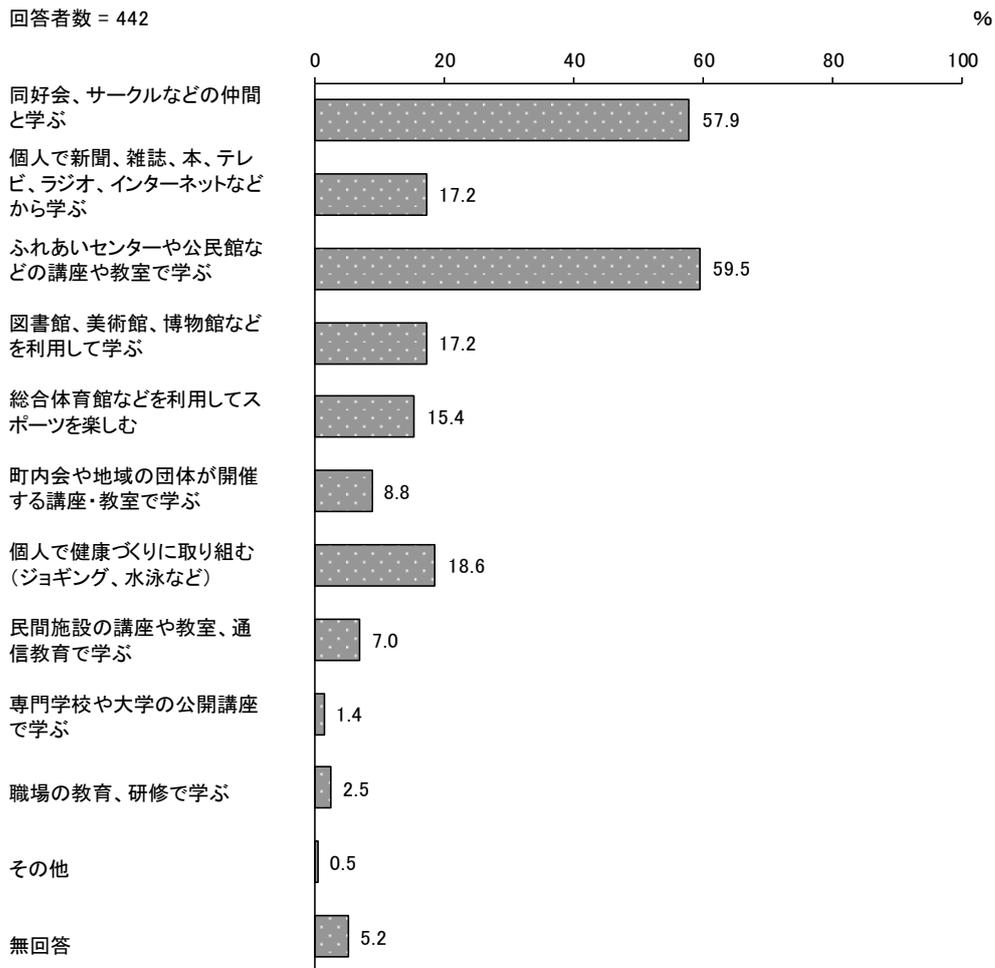
年代別で見ると、他に比べ、**30歳代**で「年5～6回以下」の割合が高くなっています。また、年代が上がるにつれて、「週1回以上」の割合が高くなっており、**80歳以上**では9割半ばとなっています。



【問6で「1」～「13」と答えた方のみにお聞きします。】

問10 (コロナ禍前は) どのような方法で生涯学習に取り組みましたか。  
(〇はいくつでも)

「ふれあいセンターや公民館などの講座や教室で学ぶ」の割合が **59.5%**と最も高く、次いで「同好会、サークルなどの仲間と学ぶ」の割合が **57.9%**、「個人で健康づくりに取り組む(ジョギング、水泳など)」の割合が **18.6%**となっています。



【年代別】

年代別でみると、20～30 歳代をのぞき、他に比べ、30 歳代で「個人で新聞、雑誌、本、テレビ、ラジオ、インターネットなどから学ぶ」の割合が、80 歳以上で「同好会、サークルなどの仲間と学ぶ」、「図書館、美術館、博物館などを利用して学ぶ」、「町内会や地域の団体が開催する講座・教室で学ぶ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	同好会、サークルなどの仲間と学ぶ	個人で新聞、雑誌、本、テレビ、ラジオ、インターネットなどから学ぶ	ふれあいセンターや公民館などの講座や教室で学ぶ	図書館、美術館、博物館などを利用して学ぶ	総合体育館などを利用してスポーツを楽しむ	町内会や地域の団体が開催する講座・教室で学ぶ
20 歳代	4	25.0	—	25.0	25.0	—	—
30 歳代	7	28.6	57.1	28.6	42.9	—	14.3
40 歳代	35	51.4	17.1	40.0	20.0	11.4	8.6
50 歳代	58	67.2	25.9	62.1	19.0	12.1	5.2
60 歳代	146	56.2	17.1	65.8	15.8	20.5	7.5
70 歳代	169	57.4	13.6	58.6	14.8	13.0	9.5
80 歳以上	20	80.0	10.0	70.0	30.0	20.0	25.0

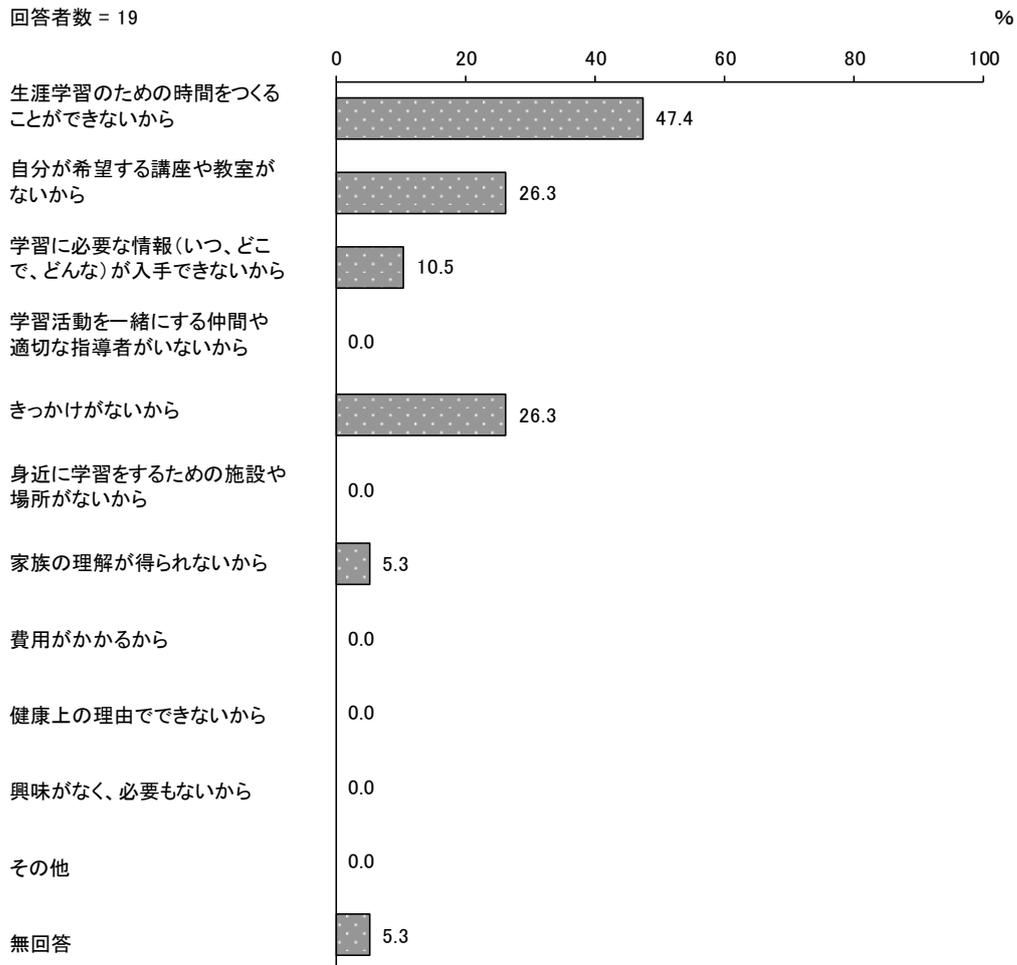
区分	個人で健康づくりに取り組む(ジョギング、水泳など)	民間施設の講座や教室、通信教育で学ぶ	専門学校や大学の公開講座で学ぶ	職場の教育、研修で学ぶ	その他	無回答
20 歳代	50.0	25.0	—	—	—	—
30 歳代	42.9	14.3	28.6	42.9	—	—
40 歳代	17.1	14.3	2.9	11.4	—	5.7
50 歳代	12.1	10.3	—	5.2	—	1.7
60 歳代	17.8	4.1	—	0.7	0.7	4.1
70 歳代	20.1	7.1	1.8	—	0.6	7.1
80 歳以上	15.0	—	—	—	—	—

【問6で「14. 特に生涯学習をしていない」と答えた方のみにお聞きします。】

問 11 生涯学習をしていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「生涯学習のための時間をつくることができないから」の割合が 47.4%と最も高く、次いで「自分が希望する講座や教室がないから」、「きっかけがないから」の割合が 26.3%となっています。

回答者数 = 19



【年代別】

年代別でみると、有効回答数が少ないため、コメントは控えます。

単位：%

区分	回答者数(件)	生涯学習のための時間をつくら ることができないから	自分が希望する講座や教室が ないから	学習に必要な情報(いつ、どこ で、どんな)が入手できないか ら	適切な指導者がいないから	学習活動を一緒にする仲間や	きつかけがないから	身近に学習するための施設 や場所がないから
20 歳代	2	100.0	-	-	-	-	-	-
30 歳代	-	-	-	-	-	-	-	-
40 歳代	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-
50 歳代	4	25.0	75.0	-	-	-	25.0	-
60 歳代	6	50.0	33.3	33.3	-	-	33.3	-
70 歳代	5	40.0	-	-	-	-	20.0	-
80 歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-

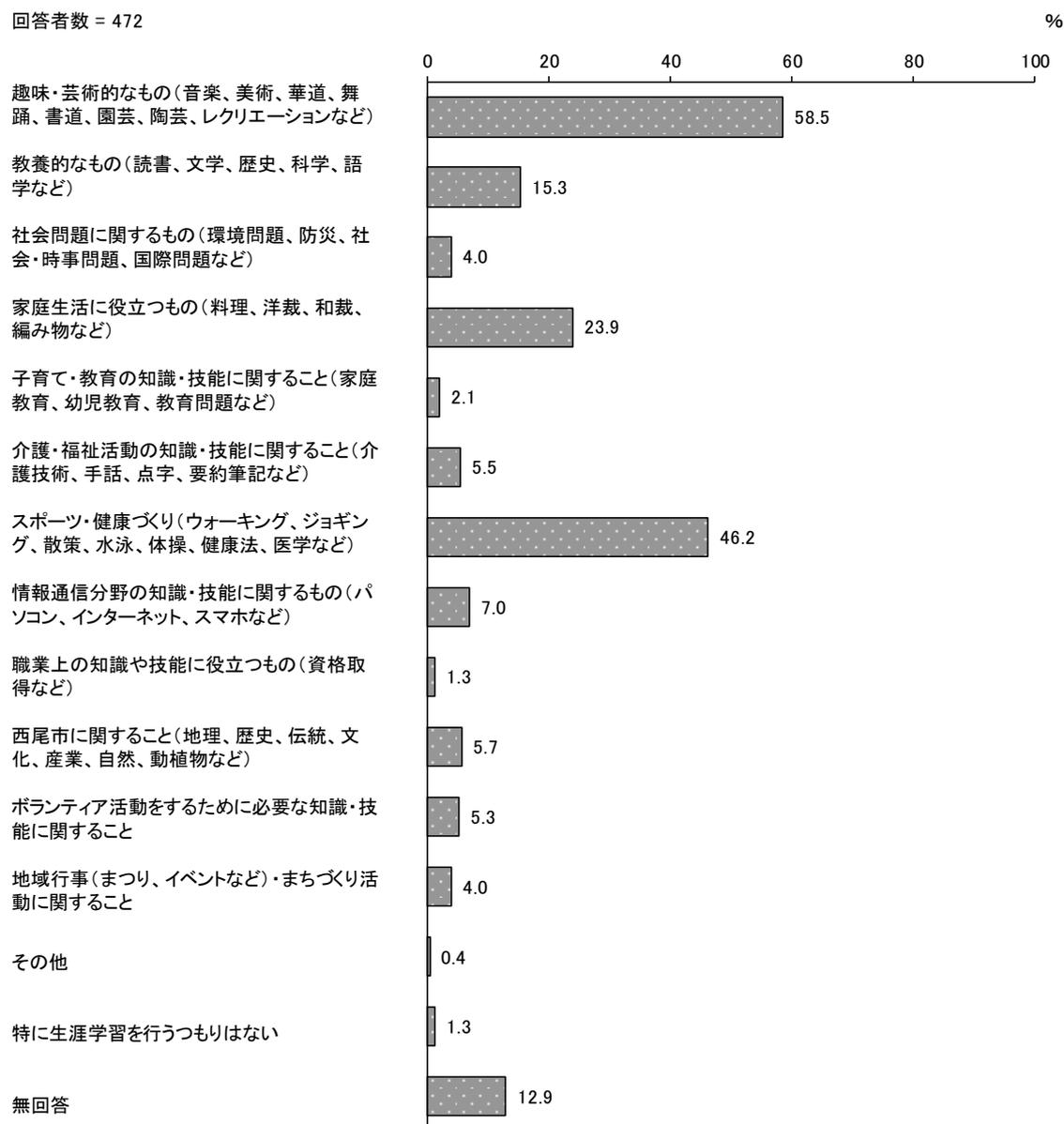
区分	家族の理解が得られないから	費用がかかるから	健康上の理由でできないから	興味がなく、必要もないから	その他	無回答
20 歳代	-	-	-	-	-	-
30 歳代	-	-	-	-	-	-
40 歳代	-	-	-	-	-	-
50 歳代	-	-	-	-	-	-
60 歳代	-	-	-	-	-	-
70 歳代	20.0	-	-	-	-	20.0
80 歳以上	-	-	-	-	-	-

### 3 今後の生涯学習について

問 12 今後、どのような内容の生涯学習をしたいと思いますか。(○は3つまで)

「**趣味・芸術的なもの**（音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸、陶芸、レクリエーションなど）」の割合が **58.5%**と最も高く、次いで「**スポーツ・健康づくり**（ウォーキング、ジョギング、散策、水泳、体操、健康法、医学など）」の割合が **46.2%**、「**家庭生活に役立つもの**（料理、洋裁、和裁、編み物など）」の割合が **23.9%**となっています。

回答者数 = 472



【年代別】

年代別でみると、20～30 歳代をのぞき、他に比べ、60 歳代で「趣味・芸術的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸、陶芸、レクリエーションなど）」の割合が、80 歳代で「教養的なもの（読書、文学、歴史、科学、語学など）」、「社会問題に関するもの（環境問題、防災、社会・時事問題、国際問題など）」、「西尾市に関すること（地理、歴史、伝統、文化、産業、自然、動植物など）」の割合が高くなっています。また、50～60 歳代で「スポーツ・健康づくり（ウォーキング、ジョギング、散策、水泳、体操、健康法、医学など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	趣味・芸術的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸、陶芸、レクリエーションなど）	教養的なもの（読書、文学、歴史、科学、語学など）	社会問題に関するもの（環境問題、防災、社会・時事問題、国際問題など）	家庭生活に役立つもの（料理、洋裁、和裁、編み物など）	子育て・教育の知識・技能に関すること（家庭教育、幼児教育、教育問題など）	介護・福祉活動の知識・技能に関すること（介護技術、手話、点字、要約筆記など）	泳、体操、健康法、医学など）	スポーツ・健康づくり（ウォーキング、ジョギング、散策、水泳、体操、健康法、医学など）
20 歳代	6	33.3	16.7	16.7	33.3	—	—	50.0	
30 歳代	7	71.4	28.6	14.3	14.3	—	14.3	14.3	
40 歳代	37	51.4	8.1	8.1	24.3	8.1	5.4	45.9	
50 歳代	62	56.5	16.1	1.6	29.0	4.8	8.1	58.1	
60 歳代	153	66.0	17.6	2.6	28.8	2.0	8.5	56.2	
70 歳代	179	57.0	12.8	3.4	19.0	0.6	1.7	37.4	
80 歳以上	22	45.5	22.7	13.6	18.2	—	9.1	27.3	

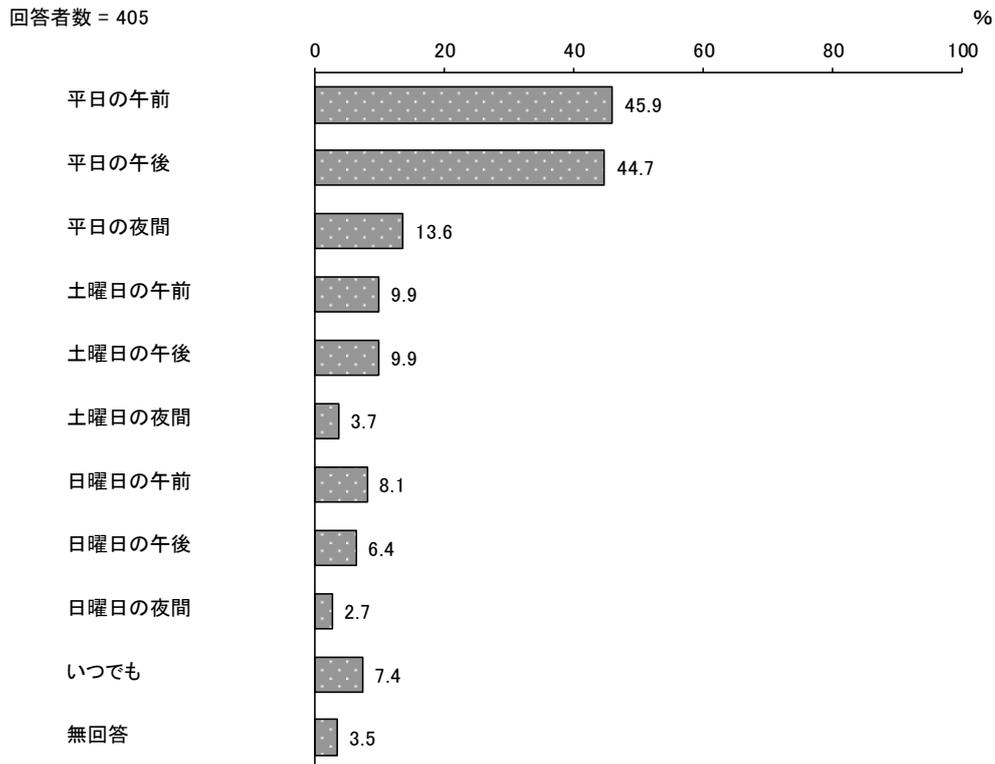
区分	情報通信分野の知識・技能に関するもの（パソコン、インターネット、スマホなど）	職業上の知識や技能に役立つもの（資格取得など）	動植物など）	西尾市に関すること（地理、歴史、伝統、文化、産業、自然、	と	ボランティア活動をするために必要な知識・技能に関すること	地域行事（まつり、イベントなど）・まちづくり活動に関すること	その他	ない	特に生涯学習を行うつもりは	無回答
20 歳代	16.7	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30 歳代	14.3	—	—	—	—	14.3	—	—	—	14.3	
40 歳代	—	5.4	2.7	5.4	5.4	—	2.7	8.1			
50 歳代	4.8	3.2	4.8	3.2	1.6	—	—	9.7			
60 歳代	10.5	—	6.5	4.6	3.3	—	1.3	10.5			
70 歳代	6.7	—	5.6	6.7	4.5	1.1	1.1	16.2			
80 歳以上	—	—	13.6	—	—	—	4.5	22.7			

【問 12 で「1」～「13」と答えた方のみにお聞きします。】

問 13 生涯学習に参加しやすい曜日と時間帯についてお答えください。

(○はいくつでも)

「平日の午前」の割合が **45.9%**と最も高く、次いで「平日の午後」の割合が **44.7%**、「平日の夜間」の割合が **13.6%**となっています。



【年代別】

年代別でみると、20～30 歳代をのぞき、他に比べ、40 歳代で“土曜日・日曜日”の割合が、50 歳代で「平日の夜間」の割合が、60 歳代、80 歳以上で「平日の午前」の割合が、70 歳代で「平日の午後」の割合が高くなっています。

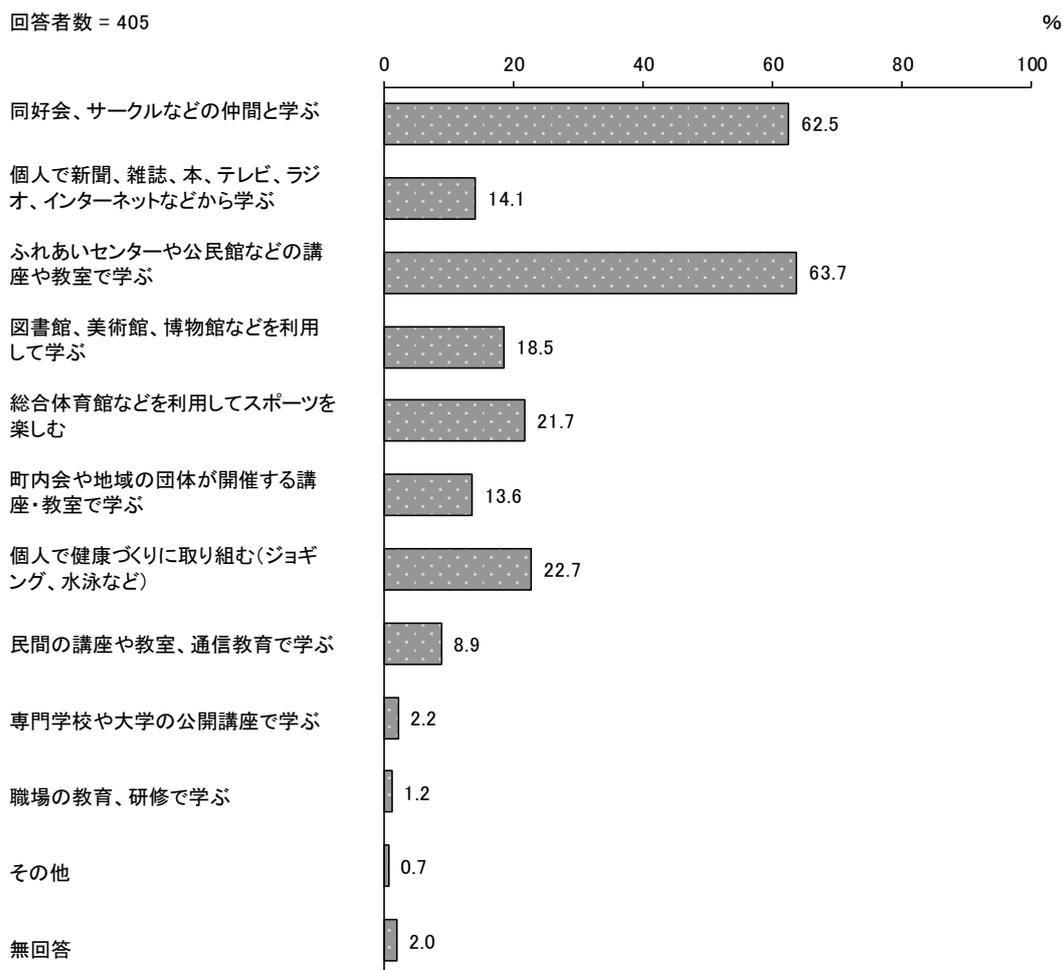
単位：%

区分	回答者数 (件)	平日の午前	平日の午後	平日の夜間	土曜日の午前	土曜日の午後	土曜日の夜間	日曜日の午前	日曜日の午後	日曜日の夜間	いつでも	無回答
20 歳代	6	16.7	—	33.3	33.3	16.7	—	—	—	—	16.7	—
30 歳代	6	—	16.7	16.7	33.3	33.3	16.7	33.3	33.3	16.7	33.3	—
40 歳代	33	42.4	21.2	33.3	30.3	24.2	15.2	27.3	24.2	9.1	—	—
50 歳代	56	25.0	28.6	42.9	12.5	8.9	5.4	10.7	7.1	5.4	1.8	5.4
60 歳代	135	57.8	49.6	6.7	5.9	6.7	2.2	5.9	3.0	0.7	8.1	1.5
70 歳代	148	45.3	55.4	4.7	6.8	9.5	1.4	5.4	4.1	1.4	10.1	5.4
80 歳以上	16	56.3	43.8	6.3	6.3	6.3	—	—	6.3	—	—	6.3

【問 12 で「1」～「13」と答えた方のみにお聞きします。】

問 14 今後、どのような方法で生涯学習に取り組んでいきたいと思いませんか。  
(〇はいくつでも)

「ふれあいセンターや公民館などの講座や教室で学ぶ」の割合が **63.7%**と最も高く、次いで「同好会、サークルなどの仲間と学ぶ」の割合が **62.5%**、「個人で健康づくりに取り組む(ジョギング、水泳など)」の割合が **22.7%**となっています。



【年代別】

年代別でみると、20～30 歳代をのぞき、他に比べ、40 歳代で「民間の講座や教室、通信教育で学ぶ」、「専門学校や大学の公開講座で学ぶ」の割合が、80 歳以上で「町内会や地域の団体が開催する講座・教室で学ぶ」の割合が高くなっています。

年代が上がるにつれて、「個人で新聞、雑誌、本、テレビ、ラジオ、インターネットなどから学ぶ」の割合が低くなっています。

単位：%

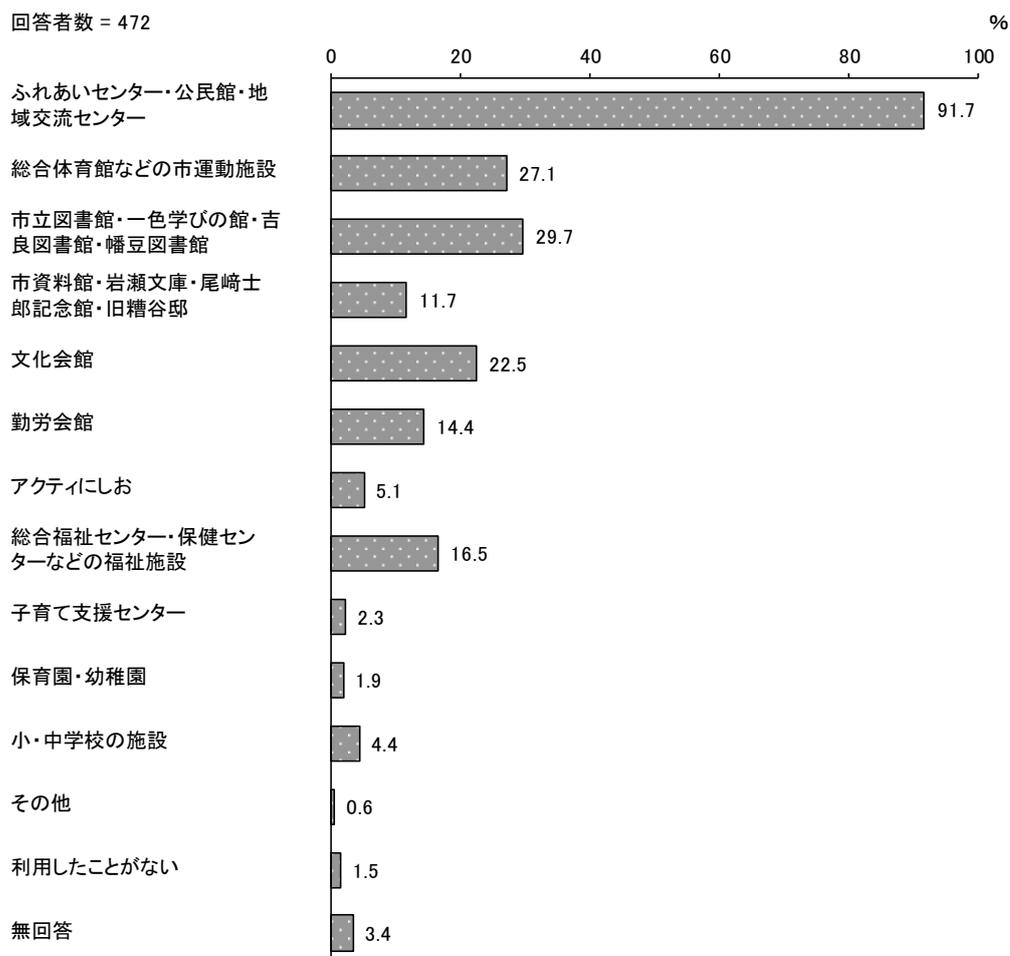
区分	回答者数(件)	同好会、サークルなどの仲間と学ぶ	個人で新聞、雑誌、本、テレビ、ラジオ、インターネットなどから学ぶ	ふれあいセンターや公民館などの講座や教室で学ぶ	図書館、美術館、博物館などを利用して学ぶ	総合体育館などを利用してスポーツを楽しむ	町内会や地域の団体が開催する講座・教室で学ぶ
20 歳代	6	50.0	—	50.0	16.7	—	—
30 歳代	6	66.7	66.7	33.3	50.0	—	16.7
40 歳代	33	54.5	24.2	51.5	18.2	30.3	12.1
50 歳代	56	60.7	17.9	69.6	10.7	30.4	10.7
60 歳代	135	62.2	14.8	74.1	23.0	25.9	17.0
70 歳代	148	66.2	9.5	58.1	16.2	14.2	10.8
80 歳以上	16	56.3	6.3	62.5	25.0	18.8	31.3

区分	個人で健康づくりに取り組む(ジョギング、水泳など)	民間の講座や教室、通信教育で学ぶ	専門学校や大学の公開講座で学ぶ	職場の教育、研修で学ぶ	その他	無回答
20 歳代	16.7	16.7	—	16.7	—	—
30 歳代	33.3	33.3	33.3	50.0	—	—
40 歳代	27.3	27.3	9.1	3.0	—	—
50 歳代	21.4	7.1	1.8	—	1.8	—
60 歳代	23.7	7.4	1.5	—	0.7	0.7
70 歳代	20.9	6.8	0.7	—	0.7	4.1
80 歳以上	25.0	—	—	—	—	—

## 4 生涯学習施設について

問 15 生涯学習のために市内の公共施設を利用したことがありますか。  
(○はいくつでも)

「ふれあいセンター・公民館・地域交流センター」の割合が **91.7%**と最も高く、次いで「**市立図書館・一色学びの館・吉良図書館・幡豆図書館**」の割合が **29.7%**、「**総合体育館などの市運動施設**」の割合が **27.1%**となっています。



【年代別】

年代別でみると、20～30 歳代をのぞき、他に比べ、40 歳代で「総合体育館などの市運動施設」、「市立図書館・一色学びの館・吉良図書館・幡豆図書館」、「子育て支援センター」、「保育園・幼稚園」の割合が、80 歳以上で「市資料館・岩瀬文庫・尾崎士郎記念館・旧糟谷邸」、「文化会館」、「総合福祉センター・保健センターなどの福祉施設」の割合が高くなっています。

単位：%

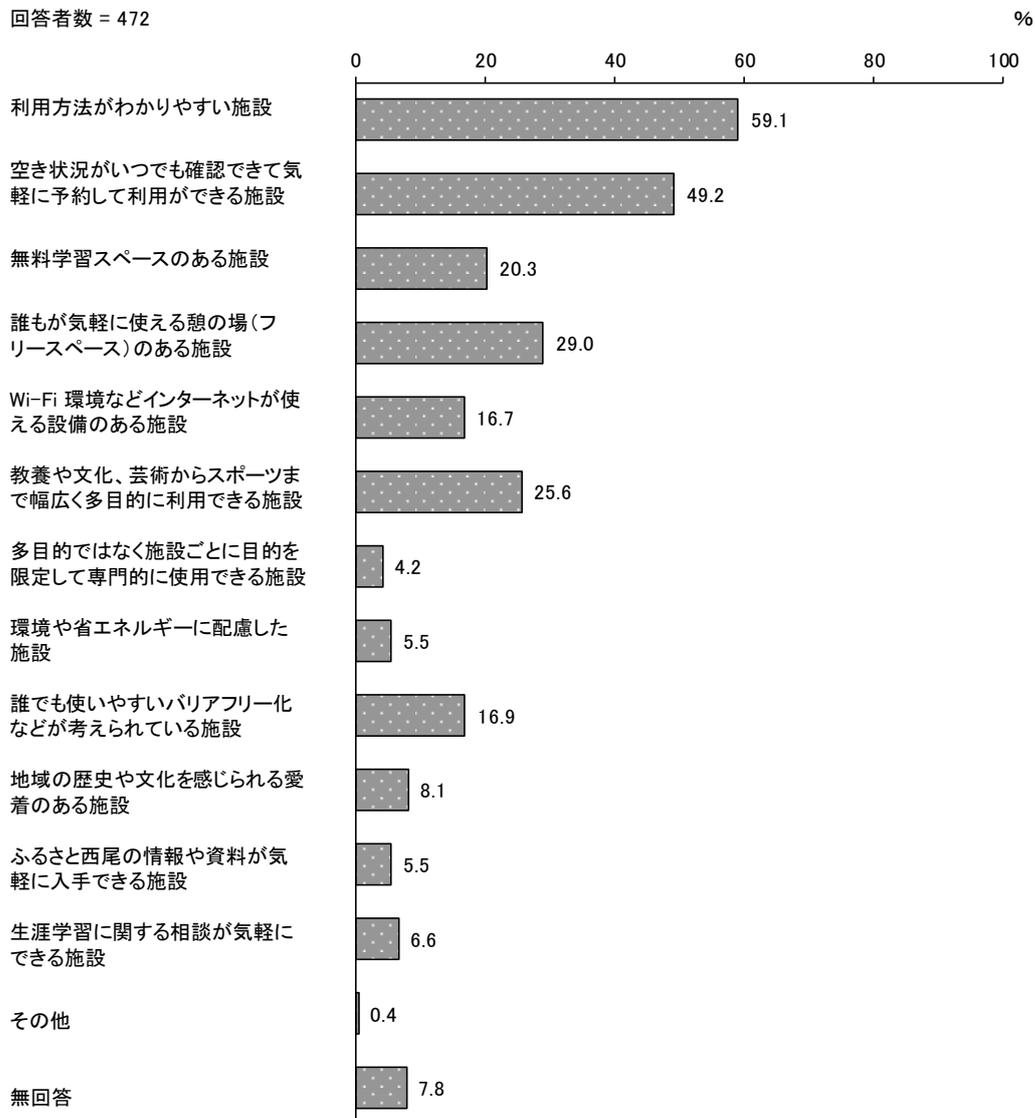
区分	回答者数(件)	ふれあいセンター・公民館・地域交流センター	総合体育館などの市運動施設	市立図書館・一色学びの館・吉良図書館・幡豆図書館	市資料館・岩瀬文庫・尾崎士郎記念館・旧糟谷邸	文化会館	勤労会館	アクティにしお
20 歳代	6	66.7	16.7	33.3	—	—	—	—
30 歳代	7	57.1	—	71.4	—	—	—	—
40 歳代	37	91.9	51.4	51.4	13.5	21.6	16.2	5.4
50 歳代	62	95.2	30.6	35.5	4.8	21.0	16.1	1.6
60 歳代	153	94.1	30.7	32.0	13.1	19.0	16.3	4.6
70 歳代	179	92.7	20.1	20.7	11.7	26.8	13.4	6.1
80 歳以上	22	81.8	18.2	22.7	22.7	31.8	13.6	9.1

区分	総合福祉センター・保健センターなどの福祉施設	子育て支援センター	保育園・幼稚園	小・中学校の施設	その他	利用したことがない	無回答
20 歳代	—	—	—	—	—	16.7	—
30 歳代	28.6	14.3	—	—	—	14.3	—
40 歳代	10.8	13.5	10.8	10.8	—	5.4	—
50 歳代	6.5	1.6	3.2	8.1	—	1.6	—
60 歳代	16.3	2.0	1.3	3.3	1.3	1.3	2.0
70 歳代	20.1	0.6	0.6	3.4	0.6	—	4.5
80 歳以上	27.3	—	—	4.5	—	—	13.6

問 16 利用してみたいと思う生涯学習施設はどのような施設ですか。

(○はいくつでも)

「利用方法がわかりやすい施設」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「空き状況がいつでも確認できて気軽に予約して利用できる施設」の割合が 49.2%、「誰もが気軽に使える憩いの場(フリースペース)のある施設」の割合が 29.0%となっています。



【年代別】

年代別でみると、20～30歳代をのぞき、他に比べ、40歳代で「Wi-Fi環境などインターネットが使える設備のある施設」の割合が、60歳代で「利用方法がわかりやすい施設」の割合が、80歳以上で「誰もが気軽に使える憩いの場（フリースペース）のある施設」、「生涯学習に関する相談が気軽にできる施設」の割合が高くなっています。また、40～50歳代で「空き状況がいつでも確認できて気軽に予約して利用できる施設」の割合が、60～70歳代で「誰でも使いやすいバリアフリー化などが考えられている施設」の割合が高くなっています。

単位：％

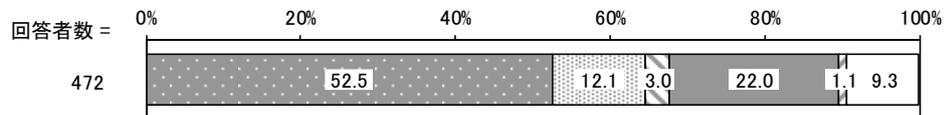
区分	回答者数(件)	利用方法がわかりやすい施設	空き状況がいつでも確認できて気軽に予約して利用できる施設	無料学習スペースのある施設	誰もが気軽に使える憩いの場（フリースペース）のある施設	Wi-Fi環境などインターネットが使える設備のある施設	多目的ではなく施設ごとに目的を限定して専門的に使用できる施設	教養や文化、芸術からスポーツまで幅広く多目的に利用できる施設
20歳代	6	66.7	33.3	16.7	16.7	33.3	33.3	—
30歳代	7	42.9	71.4	42.9	28.6	57.1	42.9	14.3
40歳代	37	56.8	59.5	18.9	24.3	40.5	29.7	8.1
50歳代	62	59.7	59.7	22.6	29.0	27.4	32.3	8.1
60歳代	153	66.0	50.3	20.9	27.5	17.6	22.9	5.2
70歳代	179	57.5	45.3	19.6	30.7	6.7	24.0	1.1
80歳以上	22	36.4	31.8	13.6	36.4	4.5	22.7	4.5

区分	環境や省エネルギーに配慮した施設	誰でも使いやすいバリアフリー化などが考えられている施設	地域の歴史や文化を感じられる愛着のある施設	ふるさと西尾の情報や資料が気軽に入手できる施設	生涯学習に関する相談が気軽にできる施設	その他	無回答
20歳代	—	—	—	—	16.7	16.7	—
30歳代	42.9	14.3	14.3	—	14.3	—	—
40歳代	2.7	5.4	2.7	—	5.4	—	2.7
50歳代	4.8	12.9	3.2	4.8	4.8	—	1.6
60歳代	5.2	20.3	9.8	5.2	5.9	0.7	5.2
70歳代	5.0	20.7	8.4	7.3	6.1	—	10.6
80歳以上	9.1	—	13.6	4.5	13.6	—	27.3

問 17 西尾市の公共施設の現状から、すべての公共施設を維持していくことは非常に難しい状況です。こうした状況の中、ふれあいセンター・公民館等の生涯学習施設の今後について、どのように思いますか。(考えに最も近いもの1つに○)

「ふれあいセンター・公民館等に限定せずに他の公共施設や町内会が管理する集会場などを有効に利用すべき」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「現状のままで良い」の割合が 22.0%、「全ての公共施設を維持していくことは非常に難しいため、ふれあいセンター・公民館等の利用者の少ない施設は、統合・廃止して施設数を減らすべき」の割合が 12.1%となっています。

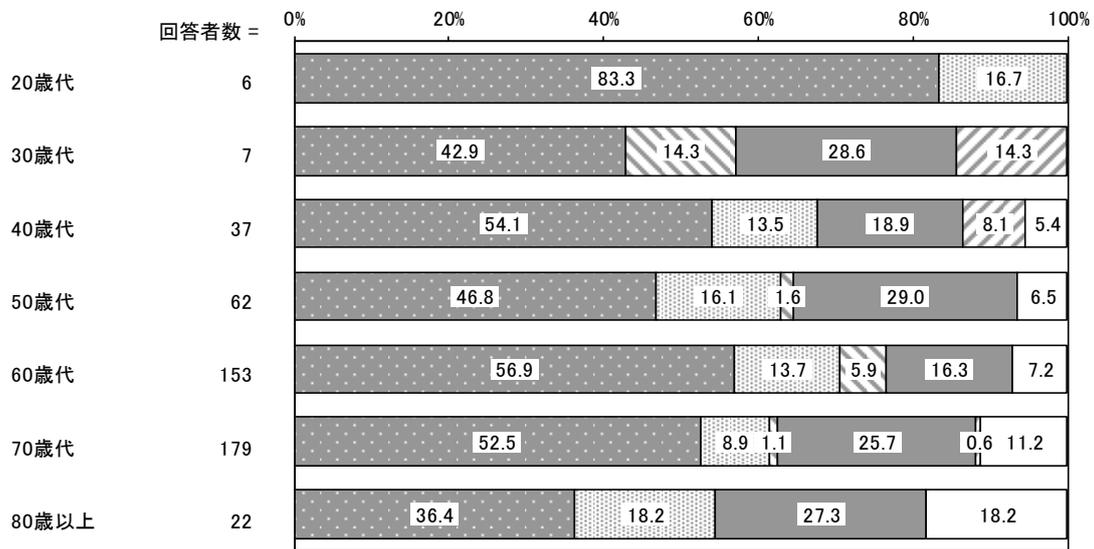
- ふれあいセンター・公民館等に限定せずに他の公共施設や町内会が管理する集会場などを有効に利用すべき
- 全ての公共施設を維持していくことは非常に難しいため、ふれあいセンター・公民館等の利用者の少ない施設は、統合・廃止して施設数を減らすべき
- 身近なふれあいセンター・公民館等がないので、新築して増やすべき
- 現状のままで良い
- その他
- 無回答



【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれて、「ふれあいセンター・公民館等に限定せずに他の公共施設や町内会が管理する集会場などを有効に利用すべき」の割合が低くなっています。

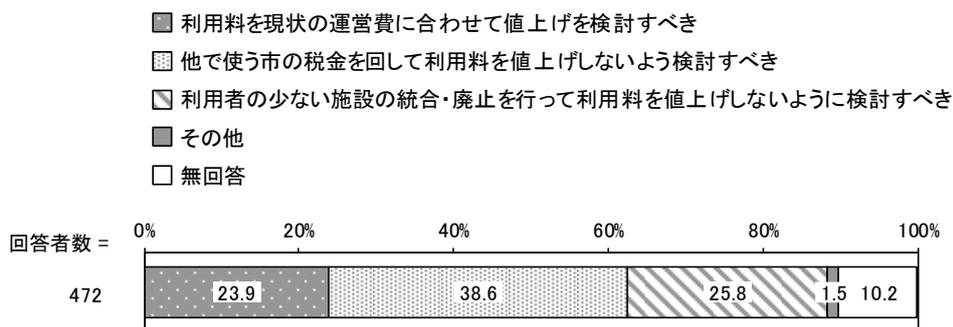
- ふれあいセンター・公民館等に限定せずに他の公共施設や町内会が管理する集会場などを有効に利用すべき
- 全ての公共施設を維持していくことは非常に難しいため、ふれあいセンター・公民館等の利用者の少ない施設は、統合・廃止して施設数を減らすべき
- 身近なふれあいセンター・公民館等がないので、新築して増やすべき
- 現状のままで良い
- その他
- 無回答



問 18 ふれあいセンター・公民館等の運営費のうち利用者が負担しているのは1割以下で、それ以外は利用していない市民の税金も投入されています。今後は、施設の老朽化による修繕などの費用も増えてくるため、公共施設の利用料を見直すことが必要になると想定されます。このことについて、どう思いますか。

(考えに最も近いもの1つに○)

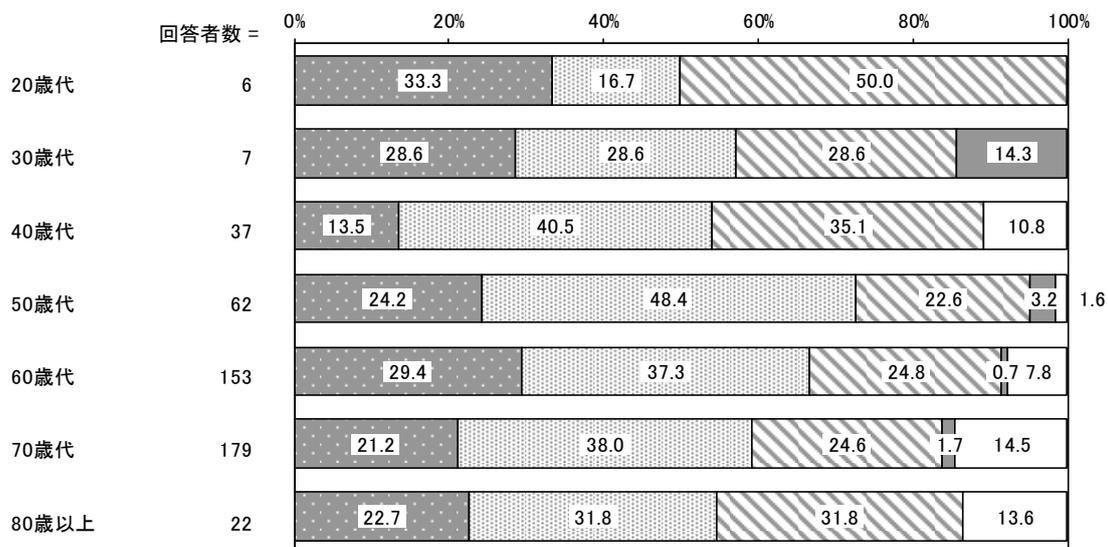
「他で使う市の税金を回して利用料を値上げしないよう検討すべき」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「利用者の少ない施設の統合・廃止を行って利用料を値上げしないように検討すべき」の割合が 25.8%、「利用料を現状の運営費に合わせて値上げを検討すべき」の割合が 23.9%となっています。



### 【年代別】

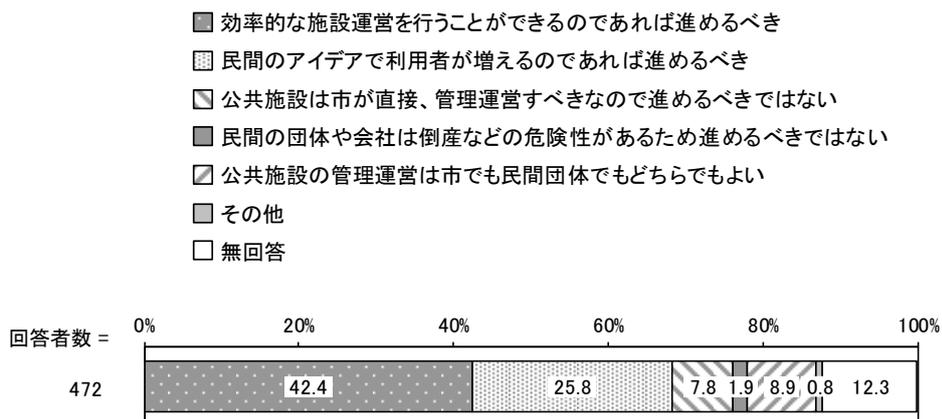
年代別でみると、20～30歳代をのぞき、他に比べ、50歳代で「他で使う市の税金を回して利用料を値上げしないよう検討すべき」の割合が、60歳代で「利用料を現状の運営費に合わせて値上げを検討すべき」の割合が高くなっています。

50歳以上で、年代が上がるにつれて、「他で使う市の税金を回して利用料を値上げしないよう検討すべき」の割合が低くなっています。



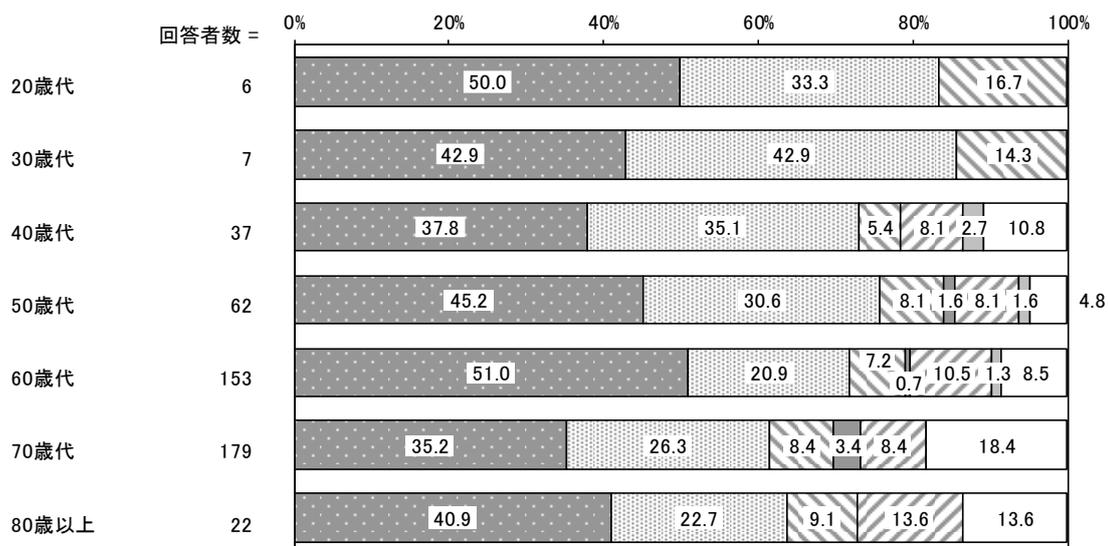
問 19 行財政改革の一環として、公共施設の効率的な管理運営方法の一つに民間の団体や会社に管理運営を任せるアウトソーシングという方法があり、市内の施設の一部には、アウトソーシングで運営されている施設（ホホワイトウェイブ・一色学びの館・一色町公民館・米津ふれあいセンターなど）があります。公共施設のアウトソーシングについて、どう思いますか。（考えに最も近いもの1つに○）

「**効率的な施設運営を行うことができるのであれば進めるべき**」の割合が **42.4%**と最も高く、次いで「**民間のアイデアで利用者が増えるのであれば進めるべき**」の割合が **25.8%**となっています。



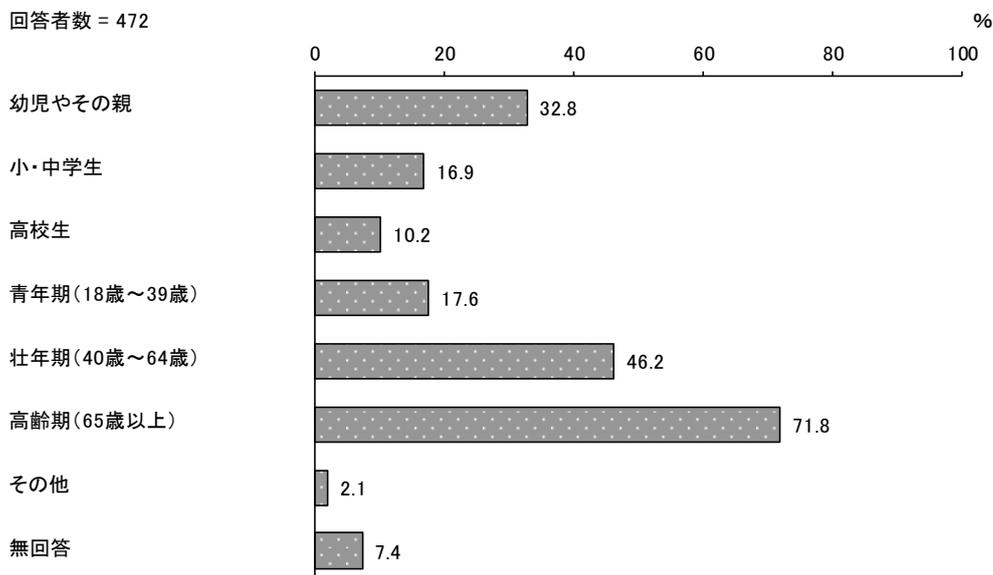
### 【年代別】

年代別でみると、20～30 歳代をのぞき、他に比べ、60 歳代で「**効率的な施設運営を行うことができるのであれば進めるべき**」の割合が高くなっています。



問 20 どのような世代を対象とした生涯学習を充実したほうがよいと思いますか。  
(○はいくつでも)

「**高齢期(65歳以上)**」の割合が**71.8%**と最も高く、次いで「**壮年期(40歳～64歳)**」の割合が**46.2%**、「**幼児やその親**」の割合が**32.8%**となっています。



### 【年代別】

年代別でみると、20～30歳代をのぞき、他に比べ、**40歳代**で「**小・中学生**」、「**青年期(18歳～39歳)**」の割合が、**50歳代**で「**壮年期(40歳～64歳)**」の割合が高くなっています。また、**60歳以上**で「**高齢期(65歳以上)**」の割合が高くなっています。

単位：%

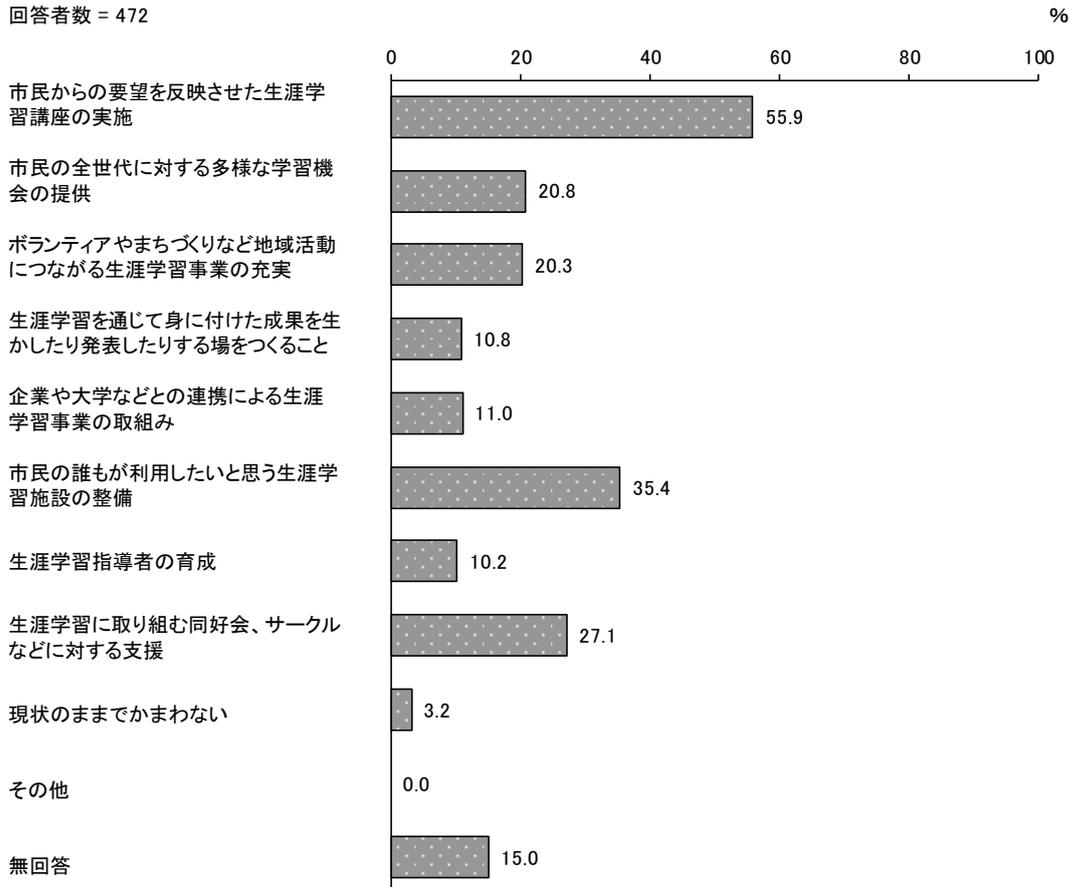
区分	回答者数 (件)	幼児やその親	小・中学生	高校生	青年期 (18歳～39歳)	壮年期 (40歳～64歳)	高齢期 (65歳以上)	その他	無回答
20歳代	6	50.0	33.3	33.3	83.3	33.3	50.0	-	-
30歳代	7	42.9	14.3	14.3	28.6	28.6	28.6	14.3	-
40歳代	37	40.5	27.0	16.2	35.1	70.3	48.6	-	5.4
50歳代	62	33.9	16.1	12.9	22.6	82.3	58.1	1.6	1.6
60歳代	153	36.6	15.7	8.5	15.7	43.1	80.4	1.3	6.5
70歳代	179	30.2	17.3	9.5	12.8	33.5	76.5	3.4	10.1
80歳以上	22	9.1	9.1	4.5	4.5	31.8	72.7	-	9.1

## 5 今後の西尾市の生涯学習に期待することについて

問 21 西尾市の生涯学習を盛んにしていくために、西尾市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○は3つまで)

「市民からの要望を反映させた生涯学習講座の実施」の割合が **55.9%**と最も高く、次いで「市民の誰もが利用したいと思う生涯学習施設の整備」の割合が **35.4%**、「生涯学習に取り組む同好会、サークルなどに対する支援」の割合が **27.1%**となっています。

回答者数 = 472



【年代別】

年代別でみると、20～30 歳代をのぞき、他に比べ、40 歳代、60 歳代で「市民からの要望を反映させた生涯学習講座の実施」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	市民からの要望を反映させた生涯学習講座の実施	市民の全世代に対する多様な学習機会の提供	ボランティアやまちづくりなど地域活動につながる生涯学習事業の充実	生涯学習を通じて身に付けた成果を生かしたり発表したりする場をつくること	企業や大学などの連携による生涯学習事業の取組み
20 歳代	6	33.3	50.0	16.7	16.7	—
30 歳代	7	28.6	14.3	28.6	—	42.9
40 歳代	37	64.9	21.6	2.7	8.1	16.2
50 歳代	62	56.5	24.2	14.5	11.3	11.3
60 歳代	153	66.7	22.9	26.1	7.8	15.7
70 歳代	179	49.2	17.3	22.3	12.8	6.1
80 歳以上	22	40.9	18.2	13.6	18.2	4.5

区分	市民の誰もが利用したいと思う生涯学習施設の整備	生涯学習指導者の育成	生涯学習に取り組む同好会、サークルなどに対する支援	現状のままでもかまわない	その他	無回答
20 歳代	66.7	—	—	—	—	—
30 歳代	28.6	—	57.1	—	—	14.3
40 歳代	43.2	10.8	18.9	2.7	—	13.5
50 歳代	38.7	8.1	24.2	3.2	—	8.1
60 歳代	37.3	11.1	31.4	2.6	—	10.5
70 歳代	33.0	11.7	27.4	4.5	—	19.0
80 歳以上	22.7	—	18.2	—	—	27.3

## 6 自由記述の意見について【利用者市民対象】

◆西尾市の生涯学習をさらに推進する上で、ご意見等がございましたらご自由にお書きください。

カテゴリ	件数
学習機会の充実	10
公共施設	18
情報の提供	4
高齢化	2
スポーツ施設	2
交通環境	5
スポーツ活動	0
ボランティア活動	0
地域人材の育成	4
つながりづくり	0
学習成果の活用	0
家庭教育	1
その他	9

※意見は原文のまま記載しています。

### 学習機会の充実

- ・ いろいろな種類の講座を近くの施設で気軽に体験したい。利用料金は上げてほしくない。
- ・ 生涯学習は、若いころからの習慣づけが大切だと思います。現在、市が募集している各種講座に参加していきたいと思いますが土日開催の講座が少ないため参加できないことが多いです。是非土日の講座を増やしてほしいです。(働く年代が参加できる講座があると障害つづけられる趣味や仲間と出会うことができるのではないかと思います。)
- ・ 他市民ですが利用させてもらえ、嬉しく思っています。施設閉鎖や講座中止等は寂しいです。今後とも誰もが利用できるようにご尽力下さい。
- ・ 平日働いている人が利用しやすいように、会館時間を長くし、生涯学習の時間を夜にも行うことを望みます
- ・ 年齢が上がるにつれて、学習したくとも、遠くでは利用できない。今の現状は今回のアンケートで理解できたが、統合廃止はさけてほしい。学習することによって、人間関係も広まり、生きる楽しさにもつながってくる。(実際利用して楽しいから)から…。
- ・ 各世代が参加できる講座の実施。・種類を幅広く選択してほしい。・個人登録もできてひとりでも部屋がかりれるようにしてほしい。・時間枠を短かくして利用しやすくしてほしい。・親切に対応ができる人が窓口にいてほしい。・申し込み・取消し・変更など手続きを簡単にしてほしい。
- ・ 都合のつく講座には、楽しく参加しております。幡豆の公民館でも楽しい講座が増えるとありがたいです。
- ・ 少子化支援に対す生涯学習の充実
- ・ 生涯学習を受け、サークル同好会が立ち上がったとしても、どうしても少人数になったりするサークル同好会も出てきます。(人の流れがあるため当たり前の事ですが) サークル同好会を継続していく為に、1年に1度はをの講座を開講して頂けるとまた入会される人も集まり継続されてい

くのではないのでしょうか。宜しくお願い致します。

- ・ 市税を納めている働いている人にも、利用出来る時間帯や曜日をもうけて欲しい

## 公共施設

- ・ 今現在のコロナの状況では難しいと思いますが、子供達(小学生)の居場所を作ってあげたいと思います。共働きの家庭が多い状況ですが、学童に入れない子も多いのが現状です。平日、学校が終わった後に、公民館を何らかの形で開放していただくとか
- ・ ふれあいセンターで何が出来るのか、どの様な施設なのか知らない人が多い。特に、若い人達。もっと気軽に利用できる施設ということをアピールして、利用率を上げる努力が必要。
- ・ 勤労会館を利用していました但し民営化により受付の職員の方がやさしくなり利用しやすくなりました。
- ・ 市の施設だけでなく部落の公民館も多いに使用すべき。各家庭から近い所の方がよい(高齢者は特に)
- ・ 幡豆ふれあいセンター多目的ホールの利用料をもう少し下げてもらえたら利用しやすいし人も集まると思う。利用時間のはばをもう少し短くして多くの人が利用できればいいと思います。
- ・ エレベーターの設置
- ・ 中央ふれあいセンターの駐車場が狭いので広くしていただきたい。エレベーターがあると便利だと思う。
- ・ フリーで使えるスペースをふやし自主的活動をしやすいようにして下さい。
- ・ 施設の予約はインターネットにしてほしい。早朝から並ぶのは大変で不便!
- ・ 利用料金高いのではないか
- ・ 施設のトイレ等をきれいにしてほしい
- ・ 1. 施設等の利用料金を上げることはさけない。
- ・ 施設職員の方には、いつも、大変お世話になっています。
- ・ 部屋を予約するシステムを考えてほしい。順番を取るのに並ぶのは大変。
- ・ 施設使用を無料にしてほしい。
- ・ 利用料を無料に
- ・ 1. ふれあいセンターのアウトソーシングについて
  - ・ 町内の方が職員で、利用者から見ると、親しみがある。
  - ・ 気軽なあいさつや、声かけがあり、ホッとする。
  - ・ アウトソーシングしている所と、そうでない所を色々な視点で比較して下さい。そして、アウトソーシングに問題が少なければ市が主体となって、アウトソーシングを増やす方向にカジを切るべきだと思います。
  - ・ アウトソーシングで問題があるようでしたら、市はそのふれあいセンターに対し、しっかり指導すべきです。"
- ・ 利用料が高額になると、利用しにくくなると思う。市の補助があると良いと思う。

## 情報の提供

- ・ 若い人にも施設を理用してもらえるようなイベントの企画・PRをした方がいいと思います。
- ・ 回数が多い講座を受講するのは少し考えてしまうのでおためしのような1~2回くらいの講座(大人用)が参加のきっかけになるのではと思います。
- ・ 生涯学習の有無、内容を広く市民に宣伝すべきと思う。自分は今迄知らずに来ました。ある機会にそれを知りましたが、宣伝が不足している様に見受けます。
- ・ 市が行っている生涯学習の一つ一つの紹介をして欲しい。公報に載せるとか、別冊を添えるとか皆さんの目に止まるように。

## 高齢化

- ・ 高齢化が進み、自分も含めて体力、知力の低下に不安を抱くこの頃です。学びの場所も近場が有り難く、より多くの多面的な講座の開設を期待しています。アンケートに希望をするも、実現せず残念です。時間に余裕のある高齢者が近くの公的場所で安価な授業料で学び、更に学んだことを地元の子供達との交流の場で楽しみながら伝えていけたら幸いです。その為にも行政の支援が必要ですので、お願い致します。高齢者が元気で生活する事は医療費削減に繋がります。
- ・ 生涯学習課とおずかしいかたくるしい考えでなくて気楽に障害に渡って、生きがいを考ずる、遊びでの広場で互いに話しが出来るふれあいセンターでありたい。又、相談者コーナーもあり、毎日を高齢者が来てのんびり楽しめる広場でありたい。

## スポーツ施設

- ・ ふれあいセンター多目的ホールの使用料について。広さで決まっているので高いのは仕方ないかもしれないが、もう少し安いと使用しやすくなると思うのですが。時間の区切りも朝・昼・夜間ではなく、スポーツ施設のように時間ごと MAX○時間という感じになるともっと使用しやすくなると思います。
- ・ (バレーボール) 利用できるスポーツ施設を増やしてほしい。

## 交通環境

- ・ クルリンバスをもっとキメ細かく、地元まで来て欲しい。免許証を返上できる体勢を作って欲しい
- ・ くるりんバスの停留所が遠いので近くにあるといいと思います
- ・ 交通公共機関と連携してアクセスしやすいといい
- ・ 市のバスを増やし、車に乗れない年の方への配慮もあるといいと思います。
- ・ 会場までのアクセスも考える必要がある

## 地域人材の育成

- ・ 平日、学校が終わった後に、公民館を何らかの形で開放していただくとか、定年退職された教員経験のある方に見守りをお願いするなど、何か地域で一体化となりマッチングしてもらえると嬉しいです。
- ・ 2. ボランティアや老人会などに声がけをして運営をつづけられるようにしたら良い。
- ・ 3. 中高生を地域にもつと引き出して、手伝いやボランティアをしてもらう。
- ・ 1. 西尾市の良い点を市民に認識させることが大切。  
2. 中学生高校生時代に西尾の良い点を教えておく。何●●大人になり、専門へ、大阪へと離れても心は西尾にいつもある。この時期の教育が大切!!  
3. 西尾の T 大、特に偉人について、明確にしておく。いばる必要はないが出身地が分かるようにしておく!!教育委員会に頑張ってください!!"

## 家庭教育

- ・ コロナでなかなか生涯学習などに参加出来ません。オンラインや、家庭で出来る事があれば嬉しいです。

## その他

- ・ いいところがいっぱいある。文化的なことに力を入れてほしい。
- ・ 現在は、老年です。ふり返ってみますと、働いている時は、ゆとりがありませんでした。(育児家事、職場) 今、あの時に、1 つでも老いる前に、学んでおけば良かったと、反省しています。若い人に、是非、私のような思いを、老いてから思わないように、指導、働きかけをしてほしいと思います。

- ・ 税金の使い方、予算配分を見直し少年度の高い所に配ってほしい。例年に同じくといった予算配分をやめてほしい。
- ・ 予算の配分の見直し
- ・ 若い世代の意見を聞く
- ・ 西尾市内と幡豆地区では学習の内容が少ない。
- ・ 「生涯学習」を、どういう立場で考えるのかも必要な視点だと思います。行政、地域住民、…などなど、もっと多様な立場の人々の意見を取り込むことができれば、もっともっとヒントが集まると思いますので、一度チャレンジして下さい。
- ・ 館員の方々が人事で移動される場合に、次の方に十分に引き継いで頂きたいと思います。今、あるサークル会の成り立ちや歴史を、知らないまま、引き継ぎされると、問題が生ずる場合があります。
- ・ 生涯学習とは、こういう事でと説明し、これは何々人がやる事であると説明し、学習すれば、これは、自分の為である●よくよく●をすることであると思います。